

＜東日本大震災からの復興の祈りをこめて・・・＞

勅使河原茜 家元継承10周年記念

「草月いけばな展 -花のちからを信じて」

2012年3月22日(木)～27日(火)

大阪高島屋 7階グランドホール

1927年の創流以来、いけばな草月流(本部:東京都港区赤坂)は「自由」と「革新」をテーマに常にいけばなのイメージを覆す作品を制作し、新たな可能性を切り開いてきました。そして2012年、第四家元勅使河原茜が家元を継承して10年を迎え、先の東日本大震災からの復興の祈りをこめて、家元継承後初となる関西地区での大規模な展覧会を大阪高島屋にて開催いたします。

(以下に勅使河原 茜の言葉を記します)

2001年に家元を継承し10年の歳月が流れました。多くの方々と出会い、あたたかい絆に彩られたかけがえのない10年間でした。これまで私を支えてくださったすべての方に心から感謝申し上げます。

2011年3月11日に起きた東日本大震災によって、私たちの日常は根底から覆され、誰もが生き方そのものを問い直すことを迫られました。花に何ができるのか。なぜ花をいけるのか。繰り返し問う私の心に浮かんできたのは、私が指導するいけばな教室で花を手にほほえむ子どもたちの姿でした。花は笑顔を生み、笑顔は希望をもたらします。花は人の心になくてはならないもの——。私は花に秘められたちからを信じて、未来への希望をかたちにしたいと思うのです。

本展は、昨年3月に予定していたものを震災のため1年延期し、30数年ぶりに関西で開催される本部主催の展覧会です。前後期680名の出品者とともに、真っ白な心で新たな10年にむけて踏み出したいと思います。花とふれ合う喜びの中に明日に進む力を感じとっていただけることを心から願っています。

草月流家元 勅使河原 茜

草月流では、花のちからで日本を元気にしたいと様々な活動をしています。そのひとつをご紹介します。＜2011年7月10日、宮城県仙台市、四丁目商店街三越前の歩行者天国で草月会宮城県支部が「震災復興チャリティー 草月流とうた声による鎮魂と復興への祈り」と題したイベントを行い、急遽茜家元も駆けつけ、献花に参加しました。＞



震災で被災された方への追悼の気持ちを花に託したいと、青竹と、元気をもたらえるひまわり 1500 本をメインに、ガーベラ 2000 本とあじさい、もみじの大木をふんだんに使い、会員一同心をひとつにして市民の皆さまに一本ずつ献花をしていただきました。

献花していただいた人数は 1200 人におよび、高さ 5m・間口 7mの鮮やかな、元気になれる素晴らしい花舞台を完成することができました。

道行く皆さまも、大きな花舞台を見て感激され、中には被災された方、親族を亡くされた方などから「よくやっていたきました」と感謝の言葉をいただき、イベントを企画した私たちの方が元気と大きな力をいただきました。



● 勅使河原茜(てしがはら あかね)プロフィール

1960年に第三代家元で映画監督の勅使河原宏の次女として生まれる。祖父は初代家元の蒼風、叔母の第二代家元・霞からはいけばなの手ほどきを受けて育つ。

多くのアーティストが絶え間なく出入りする芸術的環境の中で薫陶を受けた茜は、「自由な創造」を大切にする草月のリーダーとして、「いけばなは決して堅苦しいものではなく、現代を生きる私たちの身近な表現手段であることを多くの人たちに伝えたい」と、さまざまな空間で作品を発表し、新たないけばなの追究に意欲を見せている。さらに、いけばなを通じて子どもの感性を培うために「茜ジュニアクラス」を開講し、指導に力を注ぐ一方で、舞台美術、ジュエリーデザインをはじめ様々な分野に活躍の場を広げ、また、ダンサー、ミュージシャン、書家など他分野アーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組むなど、みずみずしい感性で敏感に時代をとらえた独自の世界を築いている。

2011年5月には、家元継承10年を記念し、東京・青山スパイラルにおいて個展「KOKOROのかたちー勅使河原茜の花」を開催。いけばな界のみならず、各界から好評を博す。



草月いけばな展 開催概要

- 展覧会名 勅使河原茜家元継承 10周年記念「草月いけばな展 -花のちからを信じて」
- 開催日程 2012年3月22日(木)～27日(火)
前期:3月22日(木)～24日(土) 後期:3月25日(日)～27日(火)
- 展示内容
 - ・勅使河原茜の大作をはじめ、東北の出品者を含めた全国の草月作家 680名によるいけばな作品の展示
 - ・大阪出身の歌手・絢香「I believe」の歌詞から発想した いけばなエリア
 - ・草月コレクション(エミール・ガレ、大樋長左衛門などの美術品)にいけるエリアなど



2011年日本橋高島屋にて、勅使河原茜作品(自作陶器花器にえのき、藤づる、山いたや)

- 開会時間 午前10時～午後8時
※ただし24日(土)、27日(火)は午後5時閉場予定
- 入場料 当日券 1000円(税込み) ※高校生以下の方は無料
※このたびの東日本大震災で被災された岩手・宮城・福島にお住まいの方は入場無料とさせていただきます。(展覧会入口にて住所の確認できるものをご提示ください)
- 展示会場 大阪高島屋 7階グランドホール
- 主催 財団法人草月会
- 後援 読売新聞大阪本社
- 一般の方からのお問い合わせ 財団法人草月会 事業部事業課 TEL:03-3408-1156

<ご取材について>

- ーご取材をご希望される方は下記 広報部までご連絡ください。
- ー尚、会場・作品の撮影につきましては高島屋様への事前申請が必要となります。撮影をご希望される方は、併せて広報部までご連絡ください。

Sogetsu Press Release

<本件に関するお問い合わせ先> 財団法人草月会 広報部 衣袋(イイ)、ハッ橋

TEL. 03-3408-1158 FAX. 03-3405-4947 E-mail. pr@sogetsu.or.jp